



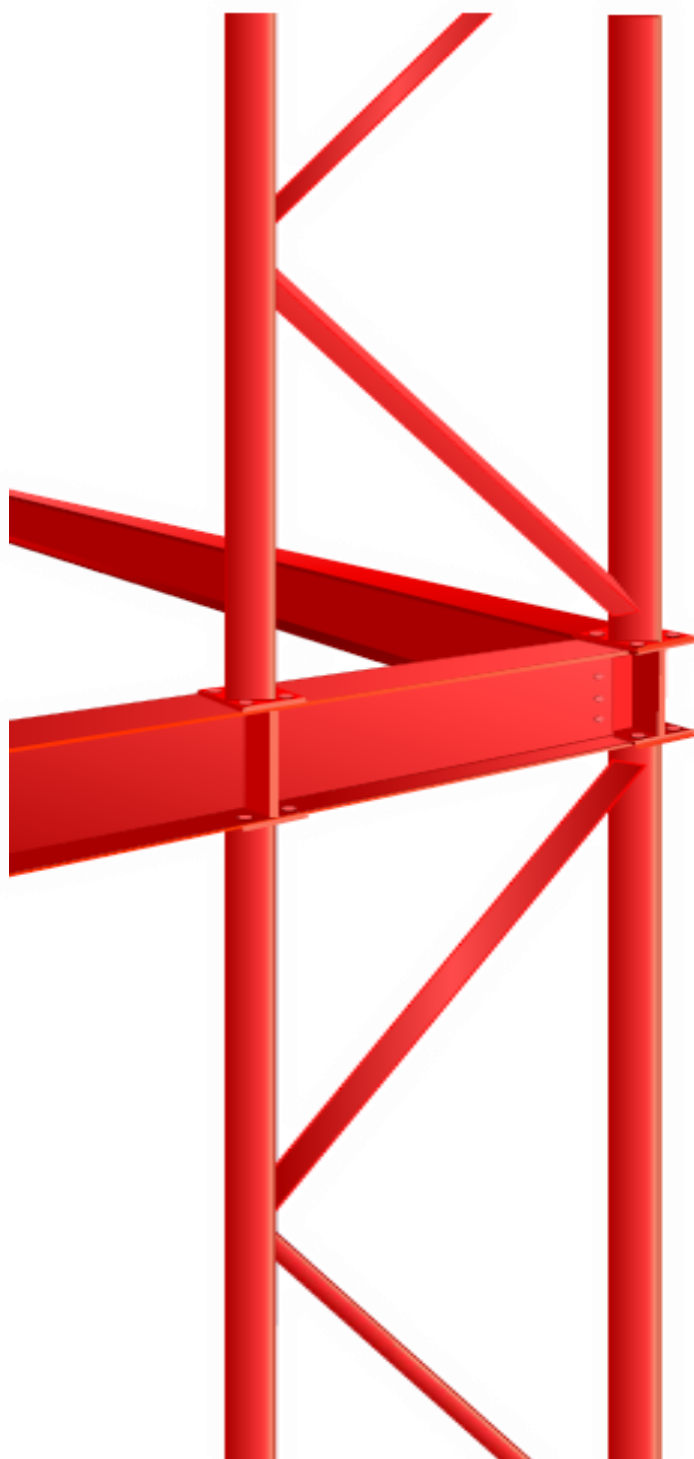
PURSUING EFFECTIVE USE OF LAND

大東スチール株式会社

環境経営レポート2019

2020 環境活動スローガン

『 小さなことの積み重ね みんなで目指そう やさしい未来 』



エコアクション21
認証番号0010704

も く じ

1	組織の概要	P1
2	環境経営指針	P2
3	実施体制	P3
4	環境経営中長期目標	P4
5	環境経営 実績及び評価	P5
6	環境関連法規等の遵守状況確認	P6
7	環境行動計画(取組評価及び今後の課題)	P7~P8
8	二酸化炭素排出量推移及び主な活動記録	P9
9	環境教育	P10
10	取組事例	P11
11	代表者による全体評価と見直し結果	P12

■ 参考ガイドライン
エコアクション21ガイドライン 2017年版

■ 報告対象期間
2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

■ 作成日
2020年 4月 30日

1. 組織の概要

■事業所名

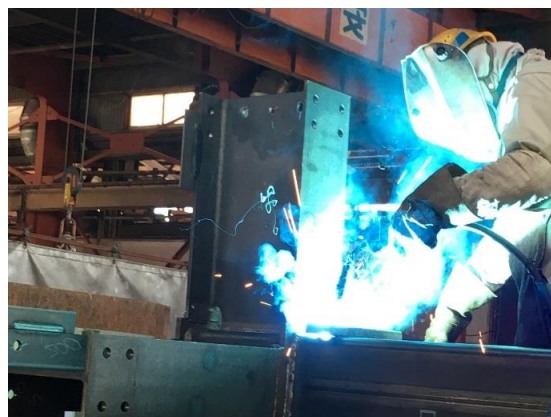
大東スチール株式会社

■代表者

代表取締役社長 増子 英貴

■許可・認定

鋼構造物工事業
静岡県知事許可(般-28)第31714号
工場認定 性能評価 認定番号 TFBM-162154 (Mグレード)



■会社の所在地

名称	所在地	延床面積	備考
本社	〒425-0012 静岡県焼津市浜当目901-1	3626㎡	
第1置場	〒425-0011 静岡県焼津市小浜字中川原152、153	1,323㎡	認証対象
第2置場	〒425-0012 静岡県焼津市浜当目977、979-1、979-2	2,115㎡	
社員駐車場	〒425-0012 静岡県焼津市浜当目字大谷1146-2、3	987㎡	

■主たる事業の種類

建築鉄骨の製造・施工・販売、エクステリア製品の調達・販売

■事業規模 (2019年度)

売上高 488,552万円
総資産 144,690万円(2018年度) 2019年度決算公告(2020年6月予定)
従業員数 43名

■事業年度

4月1日～翌年3月31日

■認定・登録の対象範囲

活動 全事業活動
対象組織 全組織

■連絡先

環境管理責任者 鈴木 雅紀
事務局担当者 桑原 祐也
TEL : 054-628-4012
FAX : 054-628-4606



2. 環境経営指針

■ 経営理念

鉄骨加工会社としての資源を最大限に活用し、高品質商品を安定提供し、『限りある大地の有効利用を広範囲に創造し、実践して社会に貢献する。』

■ 環境基本指針

私達はすべての事業活動において、省資源、再利用、再資源(3R)に努め、地球環境の保全に全員参加で継続的に取り組みます。

■ 環境行動指針

1. 二酸化炭素排出量の低減

事業活動により使用するエネルギーを低減する。

- ・電力使用量の低減に努めます。
- ・燃料使用量の低減に努めます。

2. 廃棄物排出量の低減

事業活動により排出する廃棄物を低減する。

- ・分別廃棄による3Rの推進に努めます。
- ・歩留まりのよい経済設計の推進に努めます。
- ・在庫の適正管理による余剰材の低減に努めます。

3. 水使用量の低減

事業活動による水使用量を低減する。

4. 化学物質の適正管理

事業活動で使用する有機溶剤を適正管理する。

- ・労働衛生基準を遵守し、適正な管理下で塗料を使用します。
- ・塗料の散布ロス低減に努めます。

5. 提供製品の環境性能の向上及びサービスの改善

技術、品質、安全、納期、コストを最大限に提供し、供給する。

- ・製造業務において、省エネ・省資源の設計施工を目指します。
- ・新商品、部品の開発にあたり、製品の安全性・精度・価格・作業性の性能向上に努めます。

6. 環境教育

人とのつながりを大切にし、地域に根付く企業を目指します。

- ・環境活動を通じ、近隣住民及びステークホルダーとのコミュニケーションを図ります。

7. 法令遵守

事業活動において、環境関係法令を遵守し、環境保全に努めます。

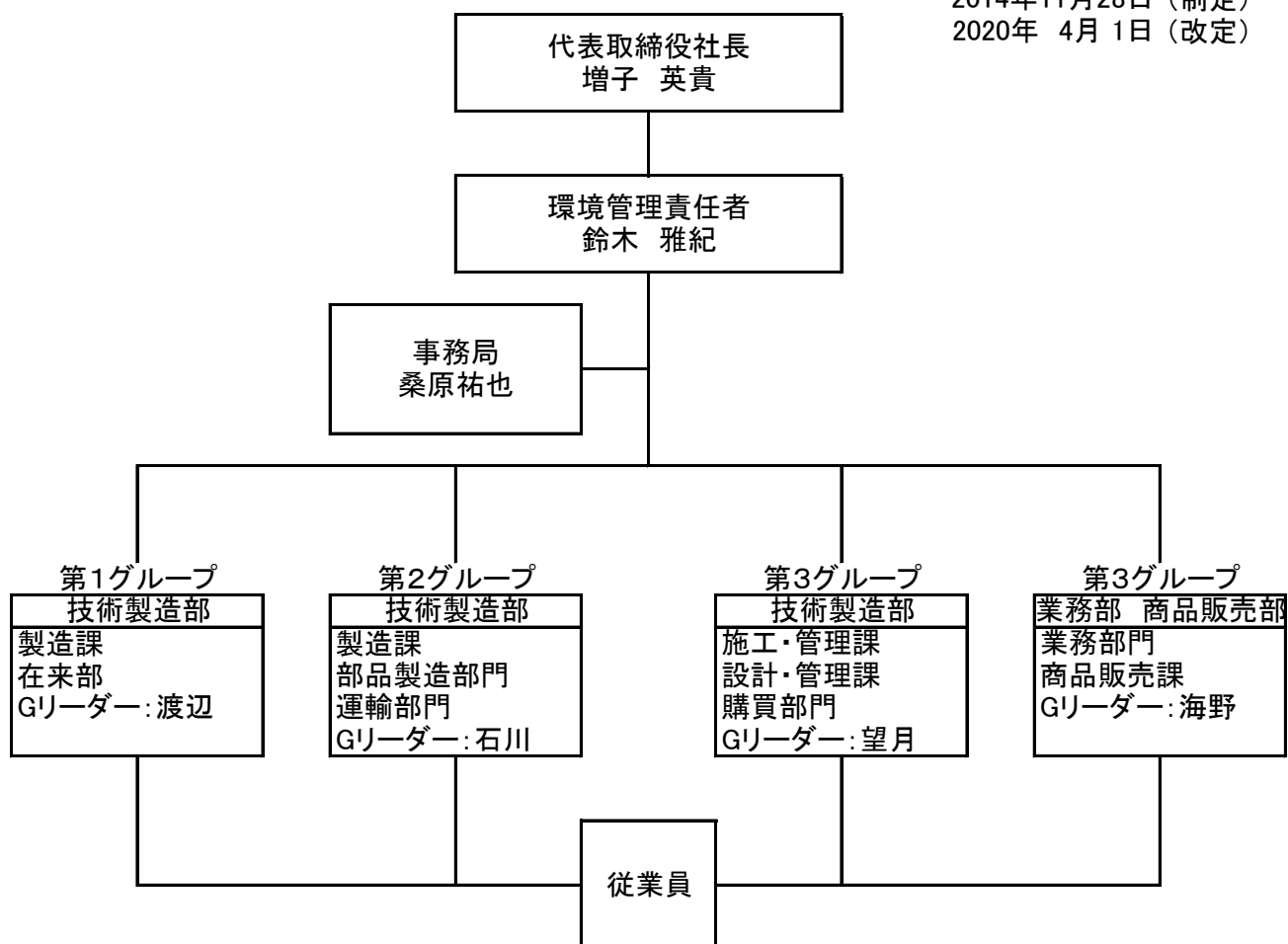
制定年月日 2014年 11月 28日 (初版)
 2019年 4月 30日 (改定)

大東スチール株式会社

代表取締役社長 増子 英貴 印

3. 実施体制

2014年11月28日（制定）
2020年 4月 1日（改定）



■関係者の権限と役割

代表取締役社長

- ① 環境経営指針の決定
- ② 環境目標の決定
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境管理責任者の任命

環境管理責任者

- ① 環境目標の達成・状況把握及び改善指示
- ② 取組状況の社長への報告
- ③ 環境経営システム及び環境指針の評価と見直し

事務局

- ① 情報収集及びデータ分析
- ② 問い合わせの対応
- ③ 環境経営レポート作成
- ④ 環境目標・環境活動計画の進捗管理
- ⑤ 環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑥ 文書・記録の管理

グループリーダー

- ① 従業員の環境活動の評価
- ② 環境目標達成に向けた取組実行の指導
- ③ 環境負荷及び取組の自己チェック実施
- ④ 法規制の遵守状況チェック

従業員

- ① 活動の推進(具体的取組の計画・対策・実施・改善・周知)
- ② 自分の推進する環境活動の状況をグループリーダーに報告

4. 環境経営目標

項目	単位	実数 原単	2013年度	2019年度 (12%削減)	2022年度 (18%削減)	2030年度 (26%削減)	
			2013年度	2019年度	2022年度	2030年度	
基準年度			2030年度削減目標(運用期間2013年4月～2031年3月)				
2013年度 生産高			2,530.3 (トン)	2013年度比 二酸化炭素排出量 26%削減			
2013年度 売上高			4,538,451 (千円)	(目標削減率はパリ協定に基づく)			
2013年度 金属仕入量			3,367 (トン)				
2013年度 従業員数			41 (人)				
二酸化炭素排出量 ※1		kg-CO2	実数	180,485.81	158,827.51	147,998.36	133,559.50
排出量/生産高(kg-CO2/トン)			原単	71.33	62.77	59.92	52.78
エネルギー消費	①購入電力 (CO2排出係数:0.513)	kWh	実数	271,573.00	238,984.24	222,689.86	200,964.02
			原単	107.33	94.45	88.01	79.42
	②灯油	l	実数	200.00	0	0	0
			原単	0.08	0	0	0
	③液化石油ガス(LPG)	kg	実数	228.70	201.26	187.53	169.24
			原単	0.090	0.081	0.07	0.067
	④ガソリン	l	実数	6,175.00	5,434.00	5,063.50	4,569.50
			原単	2.44	2.15	2.00	1.81
	⑤軽油	l	実数	9,773.00	8,600.24	8,013.86	7,232.02
			原単	3.86	3.40	3.17	2.86
廃棄物 総排出量(①+②+③)		kg	実数	47,460.00	41,764.80	38,917.20	35,120.40
排出量/生産高(kg/トン)			原単	18.76	16.51	15.38	13.88
産業廃棄物排出量①		kg	実数	13,310.00	11,712.80	10,914.20	9,849.40
排出量/生産高(kg/トン)			原単	5.26	4.63	4.31	3.89
金属排出量(有償) ※2		kg	実数	31,910.00	-	-	-
排出量/仕入量(②kg/トン)			原単	9.48	8.34	7.77	7.01
②副資材・不良製品		kg	実数	31,910.00	-	-	-
③その他(設備解体処分等)		kg	実数	2,240.00	-	-	-
水使用量		m ³	実数	1,380.00	1,214.40	1,131.60	1,021.20
使用量/従業員数(m ³ /人)			原単	33.66	29.62	27.60	24.91
化学物質使用量 ※3		目標	-	(6%削減)	(8%削減)	(15%削減)	
購入量/生産高(kg/トン)		kg	原単	12.55	11.79	11.54	10.66
①錆止塗料(購入量)		kg	実数	27,600.00	-	-	-
②希釈シンナー(購入量)		kg	実数	3,596.96	-	-	-
③洗浄用シンナー(購入量)		kg	実数	546.28	-	-	-
合計		kg	実数	31,743.24	-	-	-
環境に配慮した経営							
コピー用紙購入量		kg	実数	1,948.00	1714.24	1597.36	1,441.52
購入量/売上高(kg/億円)			原単	42.92	37.77	35.20	31.76
溶接資材購入量 ※2		kg	実数	23,665.00	-	-	-
購入量/生産高(kg/トン)			原単	9.35	8.23	7.67	6.92
生産性向上		目標	年度 経営計画目標に準ずる			同左	
在来製品 加工効率		kg/人工	前年比+5%	622.1	-	-	
規格製品 加工効率		kg/人工	前年比+2%	681.3	-	-	
品質向上		件	納入品不具合	0	-	-	

※ 1 各項目を(kg-CO2)に換算、合計を二酸化炭素排出量とする。

※ 2 生産高に比例し増減する為、目標は原単位に限定する。

※ 3 生産高に比例し増減する為、目標は原単位に限定する。

また品質保証上、経年的な削減は難しい為、目標を別途設定する。

5. 環境経営 実績及び評価

項目	単位	実数	2019年度実績			長期目標 達成率	評価	
			原単	数量	削減率			中期目標達成率
原単位基準	2019年度 生産高	1,901.5 (トン)				評価基準		
	2019年度 売上高	4,885,521 (千円)				長期目標達成	◎	
	2019年度 金属仕入量	2,057.9 (トン)				中期目標達成	○	
	2019年度 従業員数	43 (人)				目標未達	△	
二酸化炭素排出量 ※1	kg-CO2	実数	118,039.40	34.6%	125.38%	113.1%	◎	
排出量/生産高(kg-CO2/トン)		原単	62.08	13.0%	96.5%	85.0%	△	
エネルギー消費	①購入電力 (排出係数下記参照)	kWh	実数	146,948.00	45.9%	151.5%	136.8%	◎
		原単	77.28	28.0%	113.9%	102.8%	◎	
	②灯油	l	実数	0.00	100%	100%	100%	◎
		原単	0.00	100%	100%	100%	◎	
	③液化石油ガス(LPG)	kg	実数	0.00	100%	100%	100%	◎
		原単	0.00	100%	100%	100%	◎	
	④ガソリン	l	実数	5,264.98	14.7%	96.2%	86.8%	△
		原単	2.77	-13.5%	72.3%	65.2%	△	
	⑤軽油	l	実数	12,368.14	-26.6%	64.8%	58.5%	△
		原単	6.50	-68.4%	48.7%	43.9%	△	
廃棄物 総排出量(①+②+③)	kg	実数	67,150.00	-41.5%	58.0%	52.3%	△	
排出量/生産高(kg/トン)		原単	35.31	-88.3%	43.6%	39.3%	△	
①産業廃棄物排出量 排出量/生産高(kg/トン)	kg	実数	7,790.00	41.5%	140.1%	126.4%	◎	
	原単	4.10	22.1%	105.3%	95.0%	○		
金属排出量(有償) ※2 排出量/仕入量(②kg/トン)	kg	実数	40,940.00	-	-	-	-	
	原単	19.89	-109.9%	39.1%	35.2%	△		
②副資材・不良製品	kg	実数	40,940.00	-	-	-	-	
③その他(設備解体処分等)	kg	実数	18,420.00	-	-	-	-	
水使用量	m³	実数	295.00	78.6%	383.6%	346.2%	◎	
使用量/従業員数(m³/人)		原単	6.86	79.6%	402.3%	363.1%	◎	
化学物質使用量 ※3	-	-	-	-	-	-	-	
購入量/生産高(kg/トン)	kg	原単	10.98	12.5%	105.1%	97.1%	○	
①錆止塗料(購入量)	kg	実数	18,500.00	-	-	-	-	
②希釈シンナー(購入量)	kg	実数	2,176.42	-	-	-	-	
③洗浄用シンナー(購入量)	kg	実数	204.86	-	-	-	-	
合計	kg	実数	20,881.28	-	-	-	-	
環境に配慮した経営								
コピー用紙購入量	kg	実数	1,230.00	36.9%	129.9%	117.2%	◎	
購入量/売上高(kg/億円)	kg	原単	25.18	41.3%	139.8%	126.2%	◎	
溶接資材購入量 ※2	kg	実数	16,790.00	-	-	-	-	
購入量/生産高(kg/トン)	kg	原単	8.83	5.6%	86.9%	78.4%	△	
生産性向上						結果		
在来製品 加工効率	kg/人工		695.9	-	-	+10.6%	◎	
規格製品 加工効率	kg/人工		641.5	-	-	-6.20%	△	
品質向上(納入品不具合)	件		9	-	-	未達	△	

※ 1 各項目を(kg-CO2)に換算、合計を二酸化炭素排出量とする。
(購入電力排出係数-JXTG:0.503)

※ 2 生産高に比例し増減する為、原単位に限定する。

※ 3 生産高に比例し増減する為、原単位に限定する。
また品質保証上、経年的な削減は難しい為、目標を別途設定する。

6. 環境関連法規等の遵守状況確認

遵守評価の結果	当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、当社に対し利害関係者からの訴訟や指摘、苦情等は過去3年間ありませんでした。
----------------	--

※ 遵守状況評価基準(違反・訴訟 無○ 有×)

法律・条令	遵守すべき事項	適用範囲・条件	違反 訴訟	遵守 状況	確認
安衛法	労働安全衛生法施行令の遵守 労働安全衛生規則の遵守	労働者が働く職場環境の形成 作業環境測定(年2回)、特殊検診(年1回) 安全衛生委員会・災害防止協議会の開催(月1回) 安全教育(随時) SDS管理(錆止塗料、シンナー)	無	○ 2020.3	湯本 桑原
化管法 (PRTR法)	有害化学物質の適正管理 特定施設への届出(行政)	排出量及び移動量の把握 適用成分(エチルベンゼン・キシレン・トリメチルベンゼン)	無	○ 2019.5	石川 桑原
消防法	適正な維持管理の遵守 防災計画 特定施設への届出	消火設備の定期点検(年2回) 消火訓練、避難訓練(年1回) 危険物適正保管(消防署届出 不要) 塗料、シンナー 適正保管量の管理	無	○ 2020.3	湯本
高圧ガス保安法	保安基準の遵守 特定施設への届出(行政)	液化炭酸ガス製造施設(年次点検、保安検査) 酸素ガス 常備:7m ³ (15本) 2m ³ (4本) アセチレンガス 常備:7.2kg(15本) 2kg(4本)	無	○ 2020.2	渡辺 桑原
省エネ法	努力義務(環境への負荷低減)	電気使用量の平準化(節電) 燃料使用量の平準化(ガソリン、軽油使用量削減) 製品輸送による環境負荷低減	無	○ 2020.3	鈴木 桑原
廃棄物処理法 静岡県産業廃棄物 の適正な処理に関 する条例	自らの責務において、適正な処理 保管基準、収集・処理基準の遵守 マニフェスト管理(電子マニフェスト) 特定施設への届出(行政)	事業系一般廃棄物、産業廃棄物の分別処分 保管場所の表示、飛散防止措置 委託先の許可・委託契約・現地確認(年1回) 排出量の把握及び届出(年1回) マニフェストの交付、処理状況確認(随時)	無	○ 2019.9	渡辺 桑原
PCB廃棄物得措法	自らの責務において、確実かつ適正に処理 PCB廃棄物処理基本計画の策定 PCB廃棄物の保管及び処分の状況届出	2018年7月処分完了	無	○ 2019.4	桑原 石川
フロン排出抑制法	フロン類の管理の適正化に係る措置 適正な使用環境の維持及び確保	エアコン(10台) コンプレッサー(2台) 冷水機(1台) 3ヶ月に1回以上の頻度で簡易点検の実施	無	○ 2020.3	桑原
リサイクル法	副産物の発生抑制、リサイクルの推進	再生資源及び再生部品の利用の推進 製品の長期間使用の推進 生産工程の合理化による副産物抑制	無	○ 2020.3	渡辺 石川
家電リサイクル法	対象機器の適切な引渡し、 及び法に定める措置の協力	対象機器の処分時	無	○ 2020.3	海野
自動車リサイクル法	適切な引渡し	廃車の引渡し時(リサイクル料金の負担)	無	○ 2020.3	海野
	ふじのくに廃棄物減量化計画	3Rの推進	-	-	桑原
騒音規制法	規制基準の遵守 特定施設への届出(行政)	機械プレス(1台)、高速切断機(2台)。ボール盤(1台) 空気圧縮機(2台)、プラスト(1台)、型削り機(2台)	無	○ 2020.3	渡辺 石川
振動規制法	規制基準の遵守 特定施設への届出(行政)	機械プレス(1台)、空気圧縮機(2台)、せん断機(2台)	無	○ 2020.3	渡辺 石川
浄化槽法	適正な維持管理の遵守	法定点検、保守点検(設置 3基) 浄化槽の設置届 等(変更時)	無	○ 2020.3	海野
環境基本法、化審法、容器包装リサイクル法、建築リサイクル法、大防法・排ガス抑制法、水濁法、下水道法、悪臭防止法 土壌汚染対策法、公害防止組織法、環境影響評価法、循環社会形成推進基本法、生物多様性基本法、グリーン購入法			適用除外		

参考図書：環境保全ハンドブックWEB版(静岡県環境保全協会)、ISO環境法

7-1. 環境行動計画(Plan Do Check Action)

※ 評価基準(実績評価、法令遵守、運用管理)

◎(成果十分) ○(成果十分ではないが、あった) △(成果不十分、今後の課題)

取組項目		具体的取組	取組評価		
			評価	課題	次年度行動計画(取組計画)
二酸化炭素排出量	購入電力	①空調適正使用 ②空調高効率化 ③照明節約 ④照明エリア分け ⑤待機電力削減(工場) ⑥省エネ設備導入 ⑦無人エリアの消灯 ⑧休憩時間消灯 ⑨終業時100V電源オフ(工場)	◎	・実績評価 ◎ ・法令遵守(省エネ法) ・運用管理(周知)	・夏季省エネ対策 ・コンプレッサ吐出圧 低減 ・クールビズ(5月～9月) ・ウォームビズ(11月～3月) ・ライトダウン運動(6月、7月) 【目標】 ・維持継続 総量 前年比 -2%
	燃料	①エコドライブ ②車両点検 ③低燃費車導入 ④構内設備低燃費化 ⑤エコドライブ実施 ⑥AC温度・風量 適温化 ⑦積載物 適正化 ⑧車両点検 / 週 ⑨燃費確認 / 月 ⑩低燃費車導入 ⑪灯油、LPG使用設備廃止	△	・実績評価 ガソリン △ 軽油 △ ・法令遵守(省エネ法) ・運用管理(周知不足)	・ガソリン使用量 ・軽油使用量 ・車両燃費向上 ・使用者意識向上 ・エコドライブ強化期間 設定 ・カーシェア運用 【目標】 ・ガソリン 2.09L/トン(原単位) ・軽油 3.32L/トン(原単位)
廃棄物排出量	産業廃棄物	①包装材の削減 ②パレット返却 ③消耗品廃棄量削減 ④分別廃棄 ⑤簡易包装推進 ⑥多重包装見直し ⑦不要パレット返却 ⑧消耗品廃棄基準設定 ⑨分別廃棄徹底	◎	・実績評価 ○ ・法令遵守 (廃棄物処理法) ・運用管理(周知)	・木材廃棄物削減 ・木製敷角の代用物 検討 ・木製パレット運用(返却) 【目標】 ・維持継続 総量 前年比 -2%
	一般廃棄物	①包装材削減 ②循環資源分別回収 ③簡易包装推進 ④多重包装見直し ⑤ダンボール・古紙・シュレッタ屑分別回収 ⑥透明ラップ分別回収 ⑦PPバンド分別回収	◎	・法令遵守 (リサイクル法) ・運用管理(周知)	・維持継続 【目標】 ・維持継続
	金属屑	①歩止材購入推進 ②計画的在庫調整 ③製作不具合削減 ④金属屑分別回収 ⑤切断、孔明け材の購入 ⑥資材購入計画化 ⑦不良スクラップ削減 ⑧溶接棒、ワイヤ、チップ 回収	△	・実績評価 △ ・法令遵守 (リサイクル法) ・運用管理(周知)	・端材削減 ・在庫計画購入 ・端材の少ない設計 ・在庫の適正量管理 【目標】 ・8.15kg/トン(原単位)
水使用量	①節水活動 ②使用量定期確認 (漏水、過剰使用管理)	◎	・実績評価 ◎ ・法令遵守(浄化槽法) ・運用管理(周知)	・維持継続 【目標】 ・維持継続 総量 前年比 -2%	
化学物質使用量	①塗装散布ロス低減 ②排出量(購入量)把握 ③散布ロスを低減 ④PRTR法遵守	○	・実績評価 ○ ・法連遵守(化管法) ・運用管理(周知)	・塗料散布ロス改善 ・スプレーガンの改善 検討 【目標】 ・維持継続 前年比 -1%(原単位)	

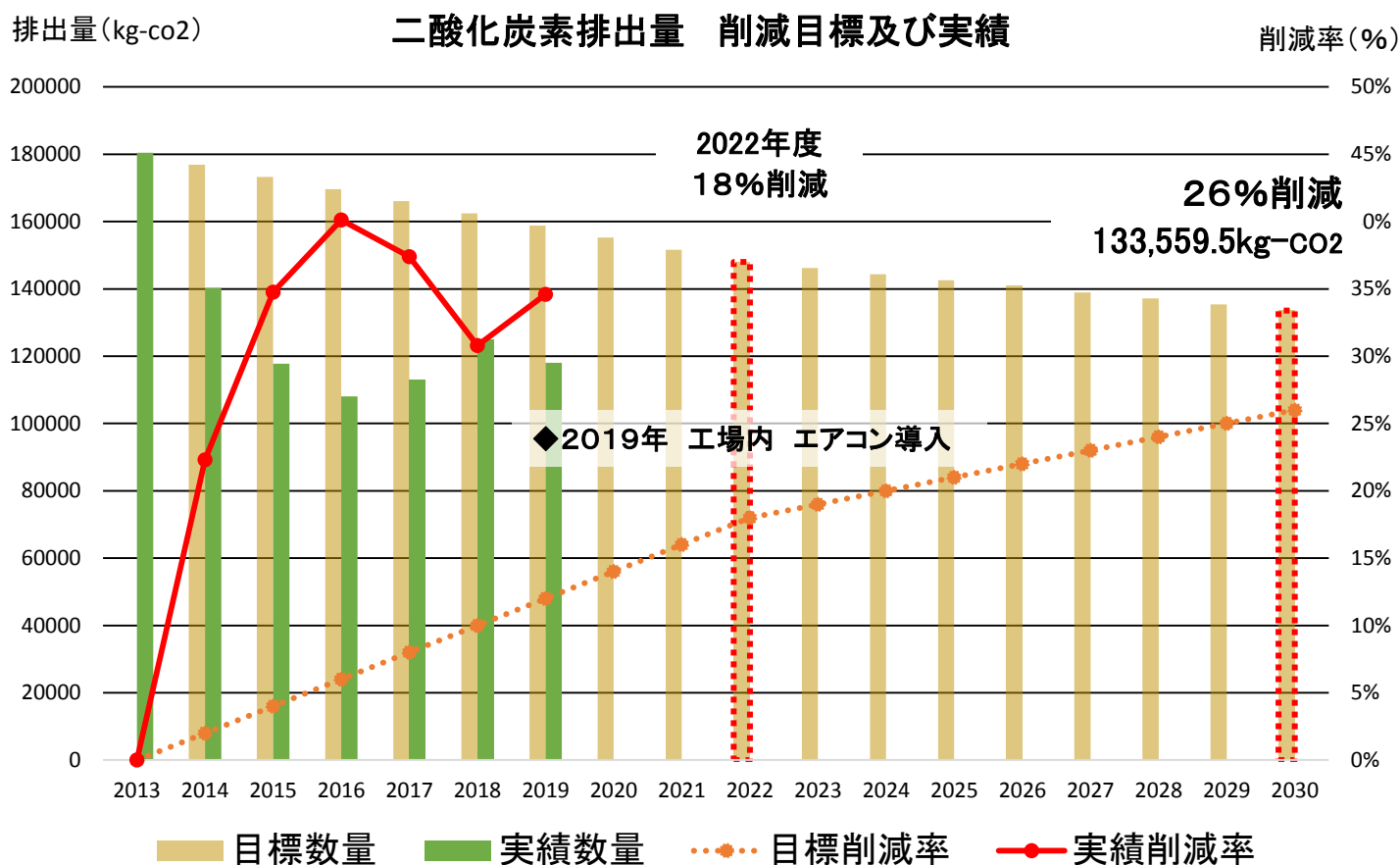
7-2. 環境行動計画(Plan Do Check Action)

※ 評価基準(実績評価、法令遵守、運用管理)

◎(成果十分) ○(成果十分ではないが、あった) △(成果不十分、今後の課題)

取組項目		具体的取組	取組評価				
			評価	課題	次年度行動計画(取組計画)		
環境に配慮した製造活動	事務用品	1. コピー紙購入・投入量削減 2. 事務用品の有効利用 3. グリーン調達率向上	①コピー機 機能活用 ②裏紙使用 ③ペーパーレス会議 ④書類管理改善(紙→データ) ⑤コピー紙購入量管理 ⑥注文書等 電子運用 ⑦未使用品の回収、再利用 ⑧環境配慮型商品購入推進	◎	・実績評価 ◎ ・法令遵守 (リサイクル法) ・グリーン調達率86.8% ・運用管理(周知)	・紙購入量の削減 ・紙投入量の削減	・ペーパーレス促進 【目標】 ・維持継続 総量 前年比 -2%
	工場消耗品	1. 溶接資材使用量削減 2. 廃棄基準設定 3. 回収ボックス設置	①溶接資材購入量の管理 ②溶接棒、砥石 廃棄基準設定 ③折刃、溶接チップ、軍手 塗装刷毛・ローラー 再利用	○	・実績評価 △ ・法令遵守 (リサイクル法) ・運用管理(周知)	・溶接資材購入量 適正量の管理	・同左 【目標】 ・溶接資材購入量 8.04kg/トン(原単位)
	品質向上	1. 加工効率向上 2. 品質向上	①加工ライン見直し ②ロボット再調整(治具改良) ③チェック体制再編	○	・実績評価 在来製品 ◎ 規格製品 △ 品質向上 △ ・運用管理(周知)	・規格製品 効率向上 ・製品管理基準周知	・社内教育 個人技量向上 ・品質チェック基準 周知 【目標】 年度経営計画目標に準ずる
環境教育	教育	1. 地域貢献活動 2. 環境関連の知識向上	①小さな親切運動 賛助 ②eco検定 受験推進	○	・海岸清掃 7/6 → 荒天中止 11/26 → 37名参加 ・eco検定 取得率62.8%	・環境教育活動の施策 ・eco検定合格率向上 前期合格率 28.5% 後期合格率 33.3%	・海岸清掃(7月、11月) ・エコ検定受験(12月) (7月 世情により中止) ・SDGs研修会 起案
	訓練	1. 災害時対応訓練	・工場内火災を想定した消火訓練実施 ・地震を想定した避難訓練実施	◎	・消火、放水訓練 ・避難訓練実施 2/21実施	・維持継続	・災害時対応訓練(2月)
法令遵守	法令遵守状況の確認	法令、条例の改正情報の確認	◎	・法令遵守 違反・訴訟 なし	・維持継続	・維持継続	

8. 二酸化炭素排出量推移及び主な活動記録



過去5年間の環境活動記録

年度	主な活動内容
2015	エコアクション21認証取得 登録初年度 省エネ設備への移行(社用車・機械)
2016	環境 人づくり企業大賞 奨励賞 環境活動の取組周知 省エネ設備への移行(社用車・機械) 新型ロボット導入
2017	エコ検定 受験推進 静岡県 小さな親切運動 賛助 事務所建替え 計画 新型ロボット導入
2018	キュービクル入替え PCB使用設備全撤去(処分完了) 事務所新築
2019	工場内 空調設備導入(スポットエアコン 7.4kw) 倉庫棟新築(食堂・倉庫棟解体) 工場・事務所 耐震関連工事完了(施工期間2013年～2019年)

9.環境教育

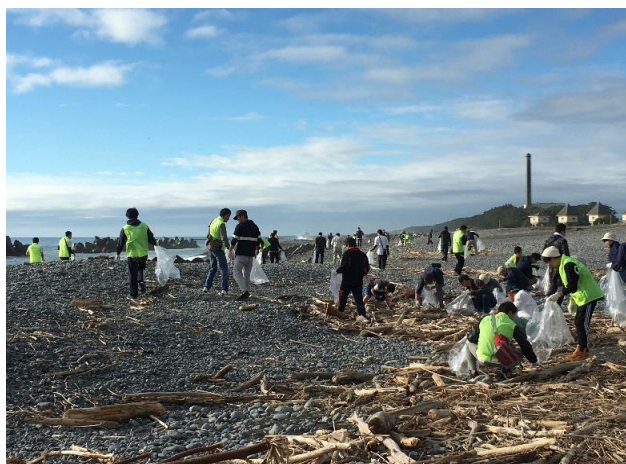
■エコ検定

受験日	従業員数	申込数	受験者数	合格者数	合格率	取得率
2018年度	42	-	-	19	-	45.2%
2019年7月	44	14	13	4	30.8%	-
2019年12月	43	12	11	4	36.4%	-
2019年度	43	-	-	27	-	62.8%

■環境保全活動

2019/7/6 静岡県焼津市 浜当目海岸清掃(静岡県 小さな親切運動) 荒天中止

2019/11/24 静岡県焼津市 田尻浜海岸清掃(静岡県 小さな親切運動) 社員(家族) 28組37名 参加



■その他



■2030SDGs 研修会 参加

10.その他、環境活動事例

■再生可能エネルギー(太陽光発電施設)



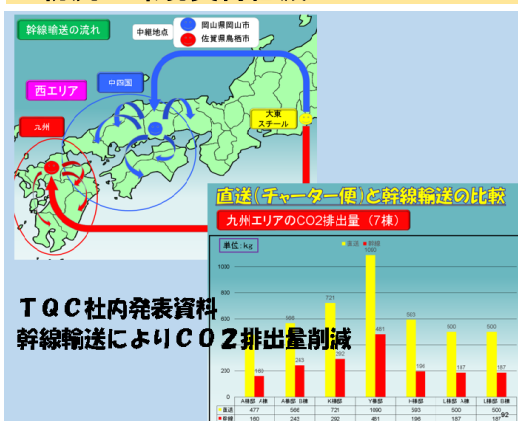
設備:太陽光発電 能力:47.0kw 運転開始:2014年2月	過去5年間	受給電力量
	2015年度	64,504 kwh
	2016年度	65,622 kwh
	2017年度	67,594 kwh
	2018年度	34,046 kwh(4カ月間休止)
	2019年度	61,605 kwh

■ボトルキャップ収集



過去5年間	ボトルキャップ収集
2015年度	5,108 個
2016年度	5,924 個
2017年度	6,821 個
2018年度	7,897 個
2019年度	8,700 個

■物流の環境負荷低減



西日本(中国地方・九州)に中継地点を設けた幹線輸送の実施

複数件の部品をまとめて、大型トラックにて陸送する。物件ごとに対応するチャーター便と比較すると、輸送コスト、環境負荷 共に削減出来る。

2016年度	100/208 件
2017年度	128/267 件
2018年度	178/373 件
2019年度	73/184 件

■これまでの環境活動関連 受賞歴



2016年度
環境省 環境人材育成コンソーシアム主体
環境 人づくり企業大賞2016 奨励賞受賞

11. 代表者による全体評価

■代表者による全体評価

はじめに、

私は2020年度より当社の代表職に就任致しました。大東建託(株)ではグループ全体で環境課題に取り組んでいますが、当社の環境経営に携わるのはこれからとなります。

企業が環境課題に取り組む事は社会的責務であり、事業の継続的成長には不可欠です。環境経営システムは、改善の繰返しにより維持継続的発展を目指した事業活動です。

大東スチールは大東建託グループで唯一の鉄骨加工工場です。当社だからこそ出来る事が必ずあります。これまでに築き上げた知識と経験で、活動の更なる発展を期待します。

2020年 4月 30日 大東スチール株式会社

代表取締役社長 増子 英貴 印

■見直し指示

見直し事項	変更の必要性	「有」の場合の指示事項 等
1 環境経営指針	有・ 無	
2 環境経営目標	有・ 無	
3 環境行動計画	有 ・無	次年度行動計画による(P7、P8)
4 環境に関する組織	有 ・無	代表取締役社長、環境管理責任者 交代
5 その他(外部への対応)	有・ 無	

■関連情報

項目	確認	コメント
1 エコアクション21文書	レ	記録・文書として作成しました。
2 環境目標及び目標達成状況	レ	CO2排出量削減 順調。
3 環境行動計画及び取組実施状況	レ	ガソリン・軽油の削減 課題とします。
4 環境関連法令要求一覧及び遵守状況	レ	記録に記載いたしました。
5 地域コミュニケーション・対応記録	レ	近隣クレーム 無し。
6 問題点の是正・予防措置の実施状況	レ	特に問題ありません。